

なか たに しん いち
中谷真一 + 早苗高市
•昭和51年9月30日生まれ 49歳
甲府市出身
妻と子(男2人・女2人)の6人家族

甲府北西中学校(H4年卒)
甲府第一高等学校(H7年卒)
防衛大学校(H12年卒)
陸上自衛隊第一空挺団(在隊期間10年)
参議院議員 佐藤正久(ヒゲの隊長)秘書
衆議院選挙当選(現在5期)
外務大臣政務官(R元年9月～R2年9月)
経済産業副大臣(R4年8月～R5年9月)
財務副大臣(R7年10月～現在)

QRコード
Facebook X Instagram Web site

日本・山梨を
強く豊かに。



執令
九年二月八日
行

なか たに しん いち
自民党公認
中谷真一

衆議院小選挙区選出議員選挙公報
中島かつひと

田中せいな
山梨県第

山梨県選挙管理委員会

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま(書面で提出されたものは写真製版によって縮小)印刷したもの)

生活者ファーストの政策実現

中島かつひとプロフィール

1967年9月27日 山梨県甲府市生まれ。
甲府市立北西中学校、山梨県立垂崎高等学校、帝京大学医学部卒業。
帝京大学医学部第一外科、山梨大学病院第一外科、垂崎市立病院を経て、医療法人ほくと診療所院長を務める。
2012年12月 衆議院議員に初当選。
2024年10月 衆議院議員5期目。

衆議院厚生労働委員【血液型】O型
【趣味】登山・愛犬との散歩

中島かつひと
公式SNS

比例代表は
中道改革連合
(略称:中道) とお書きください。

QRコード

5 現実的な外交・防衛政策と憲法改正論議の深化

「政策実現は力次第」の状況をただすため、日米同盟を主軸に据え、自衛隊を着実に整備し、万が一の事態への対応能力を高める。核廃絶・恒久平和主義の理念を堅持し、現実的な外交・防衛政策を進める。

4 不断の政治改革と選挙制度改革

教育格差の是正、気候変動対策を進め森林を守る環境政策の推進、食の安全の観点も含めた農林水産業支援、誰もが自分らしく生きられる社会をつくる。

3 選択肢と可能性を広げる包摶社会の実現

人への投資や生産性革命等を通じて、持続的な賃上げを実現し、経済成長を分配へとつなげ、生活者の豊かな暮らしを実現する。

2 一人ひとりの幸福を実現する持続的な経済成長への政策転換

高額療養費制度の維持・充実、かかりつけ医の制度化「日本版家庭医制度」導入し、健康長寿社会を実現。誰もが必要な支援にアクセスできるよう、医療などのベーシックサービスを充実させ、現役世代の負担に配慮した、持続的な社会保障を実現する。



なかじま
かつひと
○中道改革連合

暮らし・平和・人権 国民のためにブレずにはたらく

人権、個人の尊厳が大切にされる社会に

アメリカ言いなりをやめ
外交の力で平和をつくる日本を

★ベネズエラの侵略にも一言も批判できないアメリカいなりから、自主的平和的外交にきりかえる
★高市政権の「戦争する国づくり」反対
★暮らしをおしつぶす大軍拡ストップ
★「台獨発言」を撤回し、対話で問題解決を
・東アジア平和宣言」を提唱し、独自に野党外交も行い、中国にも言つべきことを言つてきました

財源は「税金は富める者から」(タックス・ザ・リッチ)一大企業と富裕層への減税と優遇を見直し、軍拡を中止すれば約30兆円の財源がつくれます
・企業・団体献金も政党助成金も受けとらなければなりません
社会保障 医療費4兆円削減をやめさせ
医療・介護の危機打開へ国の予算を思い切って増やす

物価高を上回る賃上げ 中小企業への直接支援で、最低賃金をたった1年に時給1500円、さらに1700円に引き上げ
労働時間短縮 賃上げと一体に労働時間を「1日7時間・週35時間」めざす

暮らし第一の政治へ
大企業応援から
暮らし第一の政治へ
高市政権のもと「戦争に進むのでは」と心配です。子どもたちが安心して暮らせる社会にしたい。国民のためブレずにはたらく日本共産党が伸びれば、日本の政治は変えられます。日本共産党を大きく伸ばしてください。



田中せいな
日本共産党

比例代表は
日本共産党とお書きください

プロフィール ●1991年生まれ。●都留文科大学を卒業後、甲府共立診療所などで勤務。日本民主青年同盟山梨県委員長を歴任。●現在、日本共産党山梨県委員会常任委員。●家族は、夫と子ども2人(2歳、0歳)。甲府市在住。

QRコード

I am JAPAN
3つの柱と9の政策

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しめ、家族親や結婚親という日本人らしいアイデンティティは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せられるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え方行動する時がきたのです。「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。



鈴木大介
参政党公認

1 日本人を豊かにする
の柱 ~経済・産業・移民~

1 “集めて配る”より、まず減税
減税と社会保障料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2 日本はまだ間に合う“NO! 移民国家”
労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受け入れと外国人の土地取得を制限します。

3 現場の人々が支える日本
製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2 日本人を守り抜く
の柱 ~食と健康・一次産業・エネルギー~

4 食は人の天なり
食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5 エネルギーと資源確保が生命線
諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6 安心医療で健康国家
過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3 日本人を育む
の柱 ~教育・人づくり・国家観~

7 子ども一人につき月10万円
0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8 受験戦争からの解放
偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9 日本はみんなの家
日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は 参政党 とお書きください。

参政党の政策は
こちらの特設サイトから!

QRコード

鈴木大介 プロフィール 山梨県笛吹市出身。昭和49年生まれの51歳。最終学歴は山梨県立石和高等学校卒業。生まれて51年ずっと山梨在住の地元です。卒業後、建設業の仕事を経て現在は会社員。「次の世代に胸を張れる日本を!」をキャッチフレーズに「参政党」から立候補。

投票日

2月8日(日)

衆議院議員総選挙

最高裁判所裁判官国民審査

未来への とびらを開け この一票



投票時間は、午前7時～午後8時です。
(一部の投票所を除きます。)

期日前投票

：2月7日(土)まで

午前8時30分～午後8時(一部の期日前投票所を除きます。)



山梨県選挙管理委員会